

2018年9月18日制定

2023年3月30日改定

ヘルスケアアセットマネジメント株式会社

ESGに関する基本方針

ヘルスケア&メディカル投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の資産運用会社であるヘルスケアアセットマネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）は、環境（Environment）、社会（Social）及びガバナンス（Governance）（併せて以下「ESG」といいます。）に配慮した資産運用を実践するために「ESGに関する基本方針（以下「本基本方針」といいます。）」を制定します。

1. 基本理念

当社は、本投資法人の理念である「国民一人ひとりが安心して生き生きと生活できる社会」を実現するために、社会インフラとしてのヘルスケア施設の供給促進及びヘルスケア施設に特化したポートフォリオの構築を通じて、高齢社会への貢献と中長期的な投資主価値の最大化を目指します。

当社は、環境負荷の低減、高齢社会における社会的課題の解消に向けた取組み及びガバナンス態勢の構築などESGに配慮した資産運用の実践がかかる理念と投資主価値の向上に重要であるとの認識に基づき、オペレーター・病院関係者、スポンサー、役職員など社内外の様々なステークホルダーと協働してまいります。

2. 環境負荷の低減

本投資法人が保有する運用資産におけるエネルギー効率の改善や省エネルギーに資する設備等の導入を図り、省エネルギーとCO₂排出削減に努めます。また、運用資産にかかる資本的支出や修繕計画の策定及び実施にあたり、省資源及び廃棄物の削減に努めます。

3. 高齢社会における社会的課題の解消に向けた取組み

当社は、本投資法人によるヘルスケア施設への継続的な投資と安定的な資産運用が、高齢社会における社会的課題の解消の一助になるものと考えています。そのため、投資家、オペレーター・病院関係者、スポンサー、役職員など社内外の様々なステーク

ホルダーと協働してまいります。

①オペレーター・病院関係者との取組み

当社は、ヘルスケア施設のオペレーター・病院関係者との対話により緊密な信頼関係を構築し、本投資法人が保有するヘルスケア施設の運営状況の把握に努め、利用者の安心と安全や環境に配慮した資産運用を行います。

また、ヘルスケア施設の職員や医療従事者の労働環境等に対する社会的関心の高まりを踏まえ、本投資法人が保有するヘルスケア施設のオペレーター・病院関係者の改善に向けた取組みをわかり易く公表し、投資家の理解を深めるように努めます。

②スポンサーとの取組み

当社は、「医療・介護」「ファンド運営」「金融」に関わる高度な専門性を有するスポンサーと協働し、本投資法人の安定的な資産運用と中長期的な運用資産の拡充による高齢社会の課題解消と投資主価値の向上に取り組めます。

③役職員との取組み

当社は、役職員がその能力を最大限に発揮できるよう、働きやすく健康な職場環境づくりに努めるとともに、専門的教育や研修支援等による人材育成へ積極的に取り組みます。また、本基本方針の実践のため、役職員に対しESGに関する研修等を継続的に実施し、役職員の意識向上に努めます。

④業務委託先その他の取引先との取組み

当社は、業務委託先その他の取引先に対し、ESGにかかる取組みに理解と協力を求め、本基本方針に則った取組みを推進します。

⑤地域社会への貢献

当社は、本投資法人による資産運用を通じて、地域社会におけるヘルスケア施設の充足率の向上や地域医療構想の実現に貢献していきます。

4. ガバナンス態勢の構築

当社は、自律的なコンプライアンス遵守態勢、ガバナンス態勢の構築を図るため、社内体制や社内規程等の整備に努めます。

①自律的なコンプライアンス遵守態勢の構築

当社は、役職員が自律的にコンプライアンスを遵守する態勢を構築するために、業

務上必要とされる法令その他のルールを理解を深められるよう継続的に社内外の研修を実施します。

②ガバナンス態勢の構築

当社は、ガバナンスを強化し、また、適切なリスク管理を徹底するために、各種会議体の設置や社内規程の制定など社内体制を整備し、意思決定の透明性の確保、利益相反の回避、各種リスクの低減等を図ります。

5. 投資家等のステークホルダーに対する情報開示

当社は、投資家等に対し、環境負荷低減や高齢社会における社会的課題の解消に向けた取組み及びガバナンス態勢の構築などに関する情報を積極的に開示し、投資家等のステークホルダーの理解を深めることを通じて、本投資法人の持続的な成長につなげていきます。

以上